

~~~~~< アンケート結果 >~~~~~

Q1.おこさまが将来、どのような大人になってほしいと考えていますか？

☆くーおん

- 楽しい事や辛いことを分かち合える友達が得られるといい。
- 何かできる事を見つけて働いてほしい。(複数人)
- 自ら考え、行動する事が出来る大人。
- 自立した大人(精神面、生活面、経済面など)になってほしい。(複数人)
- 人を思いやる心、優しさを持っていて欲しい。
- ストレスとうまく付き合って楽しく生活してほしい。
- 仕事や生活等に困らないように成長してほしい。
- いいことも悪いことも様々な経験をして、自分自身で進路を決めて欲しい。
- やりたいこと、出来る事が社会に繋がっていると実感できる大人。
- 困ったときに助けを求められるようになってほしい。(複数人)
- 必要な事は助けてもらいながらも、自分も役に立つものを担う。
- 自分で生活できる力(金銭面、料理、掃除などの技術面、社会性など)を身に付けて欲しい。(複数人)
- 苦手な事が少なくなって、興味の幅が広がるといい。
- 自分のことを理解し、分析する事で自分に合った処世術を身に付け、快適な生活を送れるようになってほしい。
- 自分の思っていることを臆せず言える大人になってほしい。
- どんな自分でも認められるような大人。自分自身の理解と自信。
- 他人に迷惑をかけない人。
- 自分で考えて行動できる人になってほしい。
- 好きな事を仕事にしてほしい。(複数人)
- 一人で生きていけるようになってほしい。(複数人)
- 少しでも自分でできる事を増やし、世の中や社会に少しでも多く適応できる大人。
- 沢山の人から愛され、助けてもらえるよう、優しい気持ちを持った大人。周りの人にやさしく出来る。
- 精神的に安定している。
- 素直に支援を受けられる。
- 自分らしく生き抜いてほしい。
- 人生を楽しめる人。

☆とれいる

- ある程度自立しながらも、必要な助けを自分から求められる大人に。
- 人間関係のトラブル、金銭トラブルに巻き込まれない判断力を持った大人になってほしい。
- 人生を楽しめる人。
- 外では頑張り、家では好きな事をして楽しく過ごしながら、人に頼れる、気持ちを伝えられるような子になってほしい。
- まだ想像ができない。
- 自分のやりたいことに向けて、発信する事が出来る人。

- ・感謝の気持ちを忘れず、困っている人が居たら助けられる思いやりのある人になってほしい。
- ・簡単な事でもいいので仕事をして、地域の中で生き生きと生活をしてほしい。
- ・支援をしてくれる人に対して、素直に対応でき、少しでも自立、成長し環境変化に対応できる大人。
- ・人に聞かれたことや自分の気持ちを相手に伝えられたり、自分でやろうとする気持ちを持ち続けられる大人になってほしい。
- ・仕事をして楽しく笑って生きて欲しい。
- ・本人の特性に合った場所で就労し、責任を持って仕事に励んでほしい。
- ・身の周りのことは最低限自分でこなし、困ったときには周囲に相談したり、助けを求められる大人になってほしい。
- ・楽しい気持ちで暮らしている大人であってほしい。
- ・周りの人への感謝を忘れない、笑顔も忘れない大人。
- ・自分なりに社会貢献できる大人。周囲の関わる人たちと、コミュニケーションを取り、助け合いながら楽しく生きて欲しい。
- ・自分のことは自分でできるように。
- ・自分のできる事を生き活きとやり、意欲や楽しいことがあり、充実した自信を自分に持てる大人に。
- ・周りから愛される存在。人に好かれる大人。
- ・自分で判断し、生活できるようになってほしい。
- ・自立した生活が出来るようになってほしい。(複数人)
- ・助けを借りつつも、出来る事は自分で行き、楽しめる事がある。自分らしく過ごせる。(複数人)
- ・自立し、周りとの関わりを持ち、生活していけるような大人になってほしい。
- ・大小関係なく、目標を達成することができる力のある大人に。
- ・人の喜びと一緒に喜べたり、人の感謝に寄り添える人になってほしい。
- ・人の手を借りながらも、身辺自立し、心穏やかな大人になってほしい。

## ☆こころおれ

- ・好きな事を見つけて楽しんで健康を目指して頑張ってもらいたい。
- ・その時出来る事を生かして働ける、生活できるようになってほしい。
- ・自分の思いや意志を大切にしつつ、他人を思いやれる人。
- ・やりたいことを見つけて自立してほしい。
- ・人の気持ちになって考える事が出来る優しい大人。
- ・人にやさしく思いやりを持って自立した大人。
- ・社会とつながり、食べていけるようになってほしい。
- ・手に職付けて四大卒で人に迷惑をかけず、自立した生活を送れる。
- ・しっかりと自分のことが出来るようになってほしい。
- ・自立し、助け合いが出来る人。
- ・自分で物事が考えられる自立した大人。
- ・素直な気持ちを忘れない、チャレンジ精神を持った大人。
- ・健康に幸せに日々笑顔で過ごしてほしい。
- ・思いやりのある大人。

- ・他人の気持ちを思いやる優しい人。
- ・自分に自信を持って得意な事や好きな事を見つけて楽しめるようになってほしい。
- ・他人に害を与えない大人。
- ・自分自身で進む道を決められるようになってほしい。
- ・人の気持ちがわかり、人を傷つけない大人。
- ・自立の有無に関わらず、笑顔で毎日楽しく幸せに過ごせていることが理想。
- ・ある程度自己主張が出来るようになってほしい。

## Q2.こどもたちが暮らす将来が、どのようになっていると希望していますか？

☆くーおん

- ・障害者の特性を認め、働きやすい職場を提供する企業が増える。
- ・助け合う平等な社会。
- ・歪んでしまった心が原因の悲しい事件がなくなってほしい。
- ・苦手な事があっても長く働ける社会。
- ・みんなが幸せだと感じられる将来。
- ・コロナのような感染症が流行る時に迅速に対応する国。
- ・誰かを否定するのではなく、お互いを認め合える社会。
- ・それぞれが長所を生かして、短所を補える社会。
- ・望めば誰もがチャレンジする事が出来るようになってほしい。
- ・子ども達が安全に楽しく過ごせる場所が増える。
- ・選択肢の多い環境。(就学、就労…)
- ・定型発達、発達障害の様なざっくりとした区分ではない教育。
- ・どんな人も可能性や能力が生かされる機会を得る事が出来る。
- ・障害の理解が進み、就学や就労の支援が深まってほしい。
- ・差別等少なくなり、どんな人も当たり前前に地域で暮らすことができる。(複数人)
- ・心に余裕のある大人が増えて欲しい。
- ・障害などを含めた個人の様々な違いを受け入れ、多様性を受け入れられる世の中。障害のある方に理解のある社会になってほしい。(複数人)
- ・人と違うことで排除されることがなくなる。
- ・孤立することなく生活でき、継続して支援を受けられる。
- ・個性を認めてもらえて偏見なく、共生していける世の中。
- ・発達障害の認知度が上がって、学校の先生の理解が高まってほしい。
- ・世間が子どもに求めるもののハードルが高くなっている気がするので、なんでもできなければダメではなく、寛容な社会であってほしい。
- ・障害のある人が自立した生活が送れるよう、今よりサービスが充実してほしい。
- ・就学、仕事などで子どもの特性を理解してくれて、生かせる環境になってほしい。(複数人)
- ・障害の有無の垣根が少しでも低くなってほしい。
- ・コロナ禍でできないことも増えているので、コロナ以前の暮らし、もしくは新しいルールである程度自由に過ごせる暮

らしが可能な将来になってほしい。

- ダイバーシティとインクルージョン。
- 障害を持つ人が安心して暮らせる世の中になってほしい。
- 一人一人の特性に無理のない生活が送れる世の中。

#### ☆とれいる

- 入りたいと思った時にすぐに入居できるグループホームの数が増えてほしい。
- 色々な人がいて当たり前だと思う社会。
- できない事があっても普通に声を掛けられ、助けられる社会。
- 本人のやる気などを察して見守りをしてくれ、適当にセルフプランを書かず、すごしやすい環境。
- 健常者の障害者へ対する理解が広がってほしい。(複数人)
- バリアフリーなど生活環境が整備され、生活しやすい環境になってほしい。
- 様々な人がのびのびと暮らせる世の中。
- 障害の有無に関わらず、認め合い、繋がりが持てる社会。
- 個性を認め合い、差別なく生きやすい世の中。
- 地域の中で一人でも生活できるように、買い物や通院のサポートが受けやすくなってほしい。
- 環境にやさしく、持続可能な経済、相互扶助、絆を大切に作る社会。
- 息子の笑顔がたくさん見られることが親として何よりうれしいので、そんな社会であってほしい。
- 支援を受けながらある程度制限があっても自由で楽しく生活できる将来であってほしい。
- 支援の制度、人員の充実。
- 新型コロナや異常気象、経済の悪化など不安要素が多い昨今、生きていくだけでも大変。日本の平和と安泰をまずは望んでいる。
- 親と離れても不安のない環境であってほしい。
- お互いに認め合いながらおらかな世の中。ギスギスしない世の中。
- 安心安全。安心できる場所があってほしい。
- 公共交通機関やトイレを始め、障害のある人達にわかりやすく色々な物が一人ですることができるよう、工夫されていくといいなと思う。
- 多様性を認める社会。今は押し付けられて認めている気がするため。
- 働ける場所がもっと増えて欲しい。
- 安心して親が居なくなれるのであればどんなにいいかと思う。
- お金や生活に不安のない毎日を過ごせるようになってほしい。

#### ☆こるおれ

- 安全、安心に衣食住が整った暮らしをしてほしい。
- 経済状況が安定して働きやすい世の中になってほしい。
- 肢体不自由だと選択肢が少ないので、少しでも選択肢が増えて欲しい。
- 多様性に柔軟な社会。
- 一人一人が安心して生活を送る事ができ、個性を伸ばす機会が多い未来。

- ・ 偏見なくお互いを尊重しあえる社会で生きて欲しい。
- ・ 明るく、困ったことがあっても助けてくれる人がたくさんいてくれるといい。
- ・ 誰にでも相談できる環境。
- ・ 高齢者にやさしい社会も重要だが、まずは子どもに重点を置いた社会。
- ・ 大人も子どもも助け合いが出来る世の中。みんなに優しい社会。
- ・ 助け合い支えあって乗り越えていける社会。
- ・ 安心安全に生活できるようになってほしい。(複数人)
- ・ それぞれの個性を認めて受け入れる事が普通になってほしい。
- ・ 周りとは比べない様になってほしい。
- ・ 様々な個性がある中でそれぞれが気持ちよく過ごせる環境。
- ・ 親の介護に困ることの無い世の中。
- ・ 生きづらくない笑顔あふれる未来であってほしい。完全に差別や隔たりをなくすことは難しいので、少しでも偏見が減り、受け入れてくれる方が増えると嬉しい。

### Q3.おこさまが暮らす地域に求めるものがあれば教えてください。

#### ☆くーおん

- ・ 高校にも支援級を作ってほしい。
- ・ 中学の支援級を卒業した後の進路の選択肢を増やしてほしい。
- ・ 話や相談がしやすい場所が身近にあること。(複数人)
- ・ まだ理解されにくく、生きにくいのでもう少し細やかなケアをしてほしい。
- ・ 子どもが安心安全に過ごせること。
- ・ 多様性、周囲の理解だけでは不十分。一人一人の特徴にあった支援や相談ができる専門性の高い個別支援。(障害の程度に関わらず)。
- ・ 障害の有無に関係なく、一人の人として受け入れてくれる地域。
- ・ 中高生の進路相談、指導、就労サポート、大人の余暇支援をしてもらえる場所。(複数人)
- ・ 居場所となるところ、横のつながり。
- ・ 支援学級が全小中学校に設置されてほしい。
- ・ A型事業所がもっと増えて欲しい。
- ・ 学区外から小中学校へ通う子どものスクールバスがあるといい。
- ・ 親が居なくなっただけからの将来が心配なので、もっと気楽に相談できる場があれば市役所の方に教えてもらいたい。
- ・ 小児リハの充実。
- ・ 遊び場(公園など)が充実している。
- ・ 近所に放課後デイサービスが少ないので増えてほしい。
- ・ 船橋市は近隣の市に比べて小学校支援級の支援員さんの数が少ないので増やしてほしい。
- ・ 子どもの障害のことを皆さんに理解して下さいとは思わない。理不尽な嫌がらせ等がなければ十分。
- ・ ダイバーシティとインクルージョン。
- ・ くーおんのような場所がたくさんある地域。

## ☆とれいる

- ・親が居なくなっても安心して暮らせる場所が普通にある事。
- ・ピンチの時に助けてくれる。見守ってくれる。
- ・事業所のサービスは多々あると思うが、必要な情報を得るために自分で調べなくてはいけない事もある為、気軽に相談、手助けをしてくれるところがあるといいと思う。
- ・日常的なつながり。
- ・特に災害時に障害のある人でも配慮してもらえる場所。
- ・土日など余暇を過ごせるサポートのある場所。
- ・障害を個性として理解し、障害者を一個人として尊重する社会。
- ・必要な時に援助してくれる地域コミュニティー。
- ・親が居なくなっても安心して暮らせる環境。
- ・自分の好きな事に取り組める環境。
- ・高齢者のデイサービスと子どものデイサービスが隣接していたら交流が出来、お互いに心が豊かになるのではないかと  
思う。世代を超えて定期的に一緒に活動できる場所。
- ・サービスを受けられる事業所、施設。
- ・障害を持つ人のメンタルの相談をできる場所。心療内科ではなく、障害を持つ人のことを理解できる人が、相談や診療  
をしてくれるところ。
- ・一人一人に対する理解とやさしさ。
- ・自由に過ごせる空間。
- ・社会に出てからも継続的につながっていられる環境。(サービスなのか施設なのか…)
- ・グループホーム(複数人)、移動支援、高校卒業後の居場所。
- ・受けられるサービスや支援がわかりづらい所があるので、一方通行ではなく、双方が積極的に情報を交換できる行政サ  
ービスが進んでいくといいと思う。
- ・各学校に支援級があるといいと思う。

## ☆こるおれ

- ・悪天候時に遊べる場所(アミューズメントではなく気軽に遊べる場所)があったらいい。
- ・一時預かりやファミリーサポートの様な制度が充実してほしい。
- ・支援員さんが障害児に一人は自動的についてくれるようになってほしい。
- ・見守りなど子どもを守っていけるような活動。
- ・安心して子ども達がのびのびと遊べる場所が増えて欲しい。子どもの遊ぶ場所や遊び方等何でもかんでも禁止にしない  
でほしい。
- ・子ども発達センターのようなところがもう少し気軽に行けて、育児の不安を解消できるようになってほしい。
- ・挨拶などができ、全く知らない人のいない状態で皆がコミュニケーションから取りこぼされない地域。
- ・何かあれば相談してどこかに繋がれる。
- ・子どもからお年寄りまでが助け合い、価値観やニーズの合う環境を作れる。
- ・コミュニケーションを図り家族を大切に、人脈を得て欲しい。
- ・子ども達の交流があるといい。

- ・地域で取り組んでいる物事がわかりやすく、直接関係のない人たちにもしっかりと認識できるようになってほしい。
- ・親子食堂。
- ・少しでも偏見が少なく、受け入れてくれる方の多い地域に行きたい。

### (その他)

これからどのような事業やサービスが欲しいなど、忌憚ない意見をご自由にお書きください。

☆くーおん

- ・不登校になってしまった子が通えるフリースクールの様なものが増える事を願っている。
- ・子どもにスイミングを教えて欲しい。
- ・くーおん、とれいるでイベントがあった際に中高生でできる子はスタッフ側に回って手伝いをする機会があるといい。
- ・利用料金を口座引き落としにしてほしい。
- ・得意な事を見つけるきっかけ、情報（学校や就職先など）を得られる。
- ・低学年のうちや必要な人に、補助やケアを必ず受けられるようにしてほしい。
- ・子どもが安心して過ごせる居場所が欲しい。
- ・就職に向けての活動準備や練習が出来る場所。
- ・くーおんのような安心してできる居場所で人と関わり、身体を動かし、将来の事や悩み事など気持ちを整理して自信をつけて行って欲しかったらいい。
- ・成人してからも余暇を過ごせる場所。本人が相談しやすい場所。
- ・親も子どもふらっと立ち寄れるようなカフェみたいなサービス。（そこで働く卒業生など）
- ・障害を持つ親や兄弟をサポートしてもらえるようなサービス。
- ・マンツーマンの学習支援。
- ・先輩親子の体験談など聞ける場。
- ・くーおんが2、3店舗と増えて欲しい。中学生くらいまで放課後デイサービスをしてほしい。
- ・視覚認知に弱さがあるので、低学年から取り組めるビジョントレーニングを設けて欲しい。
- ・今後も子どもの特性に合わせた楽しい体操をしてもらえるとありがたい。
- ・子どもの将来に向けた進学や就労などの相談や支援。
- ・プログラミングや英語、プールなどを教えてくれる放課後デイ。
- ・学習サービス、SST を教えてくれるところ。
- ・急な用事の際に急遽障害を持った子どもを安心して見てもらえるような場所。
- ・子どもを通して体の発達が重要だと理解したので、運動する機会を作る事は大切だと思う。大人になっても運動できる場があれば有難い。（大人版くーおん？）
- ・家族全員が参加できるようなイベントがあると嬉しい。
- ・社会人になった後も利用できるよくなるといい。
- ・コロナ禍で難しいとは思いますが、自然体験や遠足を復活させてほしい。遠足時にお買い物体験などがあると嬉しい。
- ・中学、高校と進学しても何らかの形でくーおんと繋がりがながら、くーおんの人達との交流を続けたい。

## ☆とれいる

- ・卒業後の休日、余暇を楽しめる場所が欲しい。
- ・安心して泊まれるグループホーム。
- ・今のままで十分満足している。
- ・18歳以上でも利用できる日中一時支援、生活介護事業所、グループホーム、作業所。
- ・継続的な親子支援が必要。進学時に引継ぎはあるものの、支援の継続が難しい。親が毎回1から説明しないといけない。
- ・高校卒業後も体を動かしたり、ストレスや悩みを吐き出せる場所。
- ・高校卒業も支援してもらいたい。生活面や体のことでアドバイスしてもらえると嬉しい。
- ・本を読み、漠然と抱えていた将来への不安が和らぐとともにいまやっておくべき事が少し見えてきた。本人の為、兄弟の為に備えておこうと思う。
- ・高校卒業後現在のように運動をサポートしてもらえるサービス。
- ・習志野市に短期入所できる場所。
- ・とれいるのような場所が沢山あればいいのと思う。学年が上がりが大きくなるほど不安になる。今後どうすればいいのか、どうなっていくのか、何をすればいいのか…
- ・大人になっても利用できるジムや運動ができる場所、皆で楽しく集まれる場所があればいいなと思う。  
(複数人)
- ・毎日働いたり、活動したり、通える場所がある、通いたいのに通うところがない人がいないようになってほしい。
- ・身近な所にリハビリ(OT、PTなど)のできる施設や病院があればいいと思う。
- ・高校卒業後の居場所。(利用者同士でまったりして、たまにスタッフと相談事ができるような…)
- ・大人になりつつある中で、自立していくために何が必要で、どういった適性があるのか等を相談したり、アドバイスをもらえる機会があるといい。

## ☆こるおれ

- ・通所の時間帯が幅広いといい。
- ・未就学で肢体不自由、知的の子どもがみんな活動できるサービスが増えて欲しい。
- ・保育園、幼稚園の障害児枠が増えて欲しい。
- ・子ども自身が楽しいと言い、通える環境がある事に感謝している。
- ・困ったときに助けてもらったので、知らない所にも助けてもらえるサービスがあったのだと感謝している。
- ・0歳から低価格の預かりサービス。
- ・体を動かす事が好きなので、体操や運動教室にも興味がある。
- ・支援の様子を動画で見せて欲しい。見学をしたい。
- ・他の保護者の方との交流の場が欲しい。悩みや今後のことなど同じような境遇の方と話がしてみたい。
- ・少ない時間でも分離で預かってくれるのはありがたい。自宅では経験できない遊びが豊富で毎週楽しみにしている。



